

はなまき友の会ニュース

2010年（平成22年）6月20日 第21号

事務局 〒028-0071 花巻市愛宕町7-83 妙円寺 ☎0198-23-5439

「伝え、つなげる思い」

花巻友の会会員 佐藤 敦 士

（現県教育委員会主任社会教育主事）

想像してごらんよ 国境なんてないんだと
 そんなに難しいことではないよ
 殺したり、死んだりする理由なんてない
 考え方の違いで争うこともない
 想像してごらんよ すべての人々が
 平和な暮らしを送っていると
 人は、僕のことを空想家だと言うかもしれない
 でも、そう思っているのは僕ひとりじゃないはずさ
 いつか、君も加われば この世界はひとつになるんだ
 （「イマジン」 歌：ジョン・レノン）



平成12年、私のクラスの生徒は、文化祭の取組でこの歌詞の思いを訴え続けました。世界の現状を学び、校内のみならず、地域に飛び出してユニセフ募金の協力をもとめたのです。その時に、お世話になったのが林会長であり、10年経った今でも南城中学校の生徒たちは「ハンド・イン・ハンド」の募金に協力し、街頭に立って呼びかけています。子どもを救うというユニセフの活動には、小中学生や高校生の心に直接訴える力があります。これからも、若い世代をに思いを伝え、ユニセフとともに“地球人”を育てていきたいと思っています。

活動経過

20号以降（10年3月8日以降）

2010年3月22日	第九回いわてユニセフのつどい 於プラザおでって	桜田正巳さんほか3名
4月3日	会計監査	藤原 正、愛木タキさん
〃 5日	役員会 （総会準備等）	8名
〃 10日	2010年度花巻友の会総会 於ホテルグランシェール	30名
〃 21日	不来方高校訪問 （コンサート開催の打ち合わせ）	林会長ほか2名
5月10日	第一回役員会	13名
〃 14日	県支部第一回運営会議	林会長ほか2名
〃 18日	第二回役員会	12名
6月11日	県支部第二回運営会議	林会長ほか2名
〃 14日	第三回役員会	10名

2010 年度 総会開催される

- (1) 日時 4月10日(土) 11時~12時 のち昼食会 於ホテルグランシェール
(2) 参加人数 30名
(3) 司会進行 伊藤 明子さん
(4) DVD 上映「日本とユニセフの働き60年」
(5) 議長に藤原富男さんを選出
(6) 内容①2009 年度活動報告並びに収支決算

監査報告 愛木タキさん

②2010 年度活動計画並びに収支予算案について

③役員の変更について

以上の議案は、提案通り可決、承認され新年度がスタートした。

④本年度のユニセフ活動の主なもの

イ) ユニセフ平和チャリティーコンサート

ロ) ユニセフバザー

ハ) 「ハンド・イン・ハンド」の募金活動

⑤その他

会員様より寄付金の個人住民税の軽減措置を行政に働きかけてほしい旨意見あり。

(7) その他

◆ 県支部 高橋 セキ子さんからの報告

- 来年は岩手県支部結成 10 周年を迎えるが現在の会員数は 205 名ほどである。
- 世界の子どもの状況について (3 秒に 1 人亡くなっている・9300 万人くらい学校に行けないでいるし、災害などにより子ども、女性が被害をうけていること。
- ユニセフ本部 (国連) の職員の大半は、各国 (途上国) 最前線に派遣されていることなどの報告があった。

いわてユニセフの集いに参加して

大野 香

第 9 回いわてユニセフの集いは、3 月 22 日プラザおでってで開かれた。花巻友の会からは、桜田正巳さん、高橋トシさん、川村エイさんと大野 香が参加した。参加者は、70 名ほどで盛会であった。

プログラムは①「日本とユニセフの働き 60 年」上映②活動交流③ハイチ地震募金贈呈④県支部の活動⑤手洗いダンス⑥映画「子どもの情景」であった。

- 花巻友の会からは、活動交流として、はなまき UC を中心に桜田正巳さんが発表した。
- 映画「子どもの情景」は 80 分ほどかかり、しかも内容が衝撃的なものであった。

アフガニスタンに暮らす子どもたちは、大人の起こした戦争によって今もって影響されている。日常の遊びもむごたらしい戦争ごっこだった。女の子を捕虜にし、つないでおいたり、仲間以外の子を土の中に埋めたり、大人の戦争そのものを映していた。

監督は、イランの若い女性でこの映画で描きたかったことは、次のようなことだった。

暴力、暴力によって、いちばん傷つくのは子供だ、子供は未来だ、もしも子供時代に貧困や暴力にあえば、どれくらい将来に影響があるかということを大人は考えてほしい。
これでいいのですかと。



2010年度第一回県支部運営会議に出席して

川村 エイ

5月14日(金)盛岡のアイーナに於いて第一回県支部運営会議に林 会長、高橋トシさんと共に出席させて頂きました。会議の前半は、3月以降の活動、2009年度募金額は1288万2220円であったこと等の報告事項があり、次に協議事項としてユニセフ講座の開催、今年度事業計画の当面の活動として①ユニセフ写真パネル展②ユニセフキャラバン隊(岩手県は、10月14日の予定)等が挙げられており、「気候変動と子どもたち」の写真パネル展は、7月15日(木)~20日(火)まで当花巻妙円寺に展示の予定となっています。続いてワークショップが開催されました。講師は、宮城県尚絅学院大学森田明彦教授で「子どもの権利条約」に関することでした。それぞれ5人毎に4テーブルに分かれ、各人、紙一枚とクレヨンやマーカーなどから好きな色3本選び、現在の気持ちを紙に表現し、お互いの表現したものを読み合いっこするものでした。決して絵の上手、下手などの批評はしないことを条件に!。これは、アートセラピーによる心理療法のひとつで別名「芸術療法」とも呼ばれ、自分の知らない隠れている才能(考え、思い)を見出すことができるというアートのワークの体験でした。これを利用してのカンボジアでの子どもや女性の人身売買虐待被害者のアート事例も示されました。次に子どもたちの思い出で一番楽しかったこと、悲しかったことを話し合い、グループ毎に発表しました。結論は楽しかった思い出の方が、悲しかったことより強く記憶に残るという事でした。次に森田先生は、賀川豊彦さんの6つの子どもの権利をかかげお話をいただきました。

- ① 子どもは食う権利がある
- ② 子どもは遊ぶ権利がある
- ③ 子どもは寝る権利がある
- ④ 子どもは叱られる権利がある
- ⑤ 子どもは親に夫婦けんかを止めて乞う権利がある
- ⑥ 子どもは親に禁酒を要求する権利がある

上記の①・③は生存の権利、②は発達の権利、⑤・⑥は意見表明の権利であるという④について香川豊彦さんは、最近の親は、叱ることをしないで怒る親がいると講演の中で嘆いていたとか・・・

(香川豊彦氏「子どもの権利論」について1924年東京深川で講演)

岩手県でもわらすっこプランと称し遠野市で作られているし、奥州市でも作られつつあり、岩手県議会でも県条例として制定の提案がされたということでした。

以上、いろいろ勉強になった講座でした。

ユニセフ募金の贈呈あり

6月12日(土)午後、ユニセフ花巻友の会へ

立正佼成会花巻教会様より146,229円

の寄付がありました。

早速、ユニセフ岩手県支部の方へ送らせて頂きました。

本当にありがとうございました。



伝言板

イ) ユニセフ写真パネル展

「気候変動と子どもたち」
～アグネス・チャン日本ユニセフ大使のブルキナファソ視察報告～
写真・パネル 36枚
日 時：7月15日(木)～7月20日(火)
場 所：花巻市愛宕町 妙円寺

ロ) ユニセフ平和チャリティーコンサート開催

日 時：8月1日 午後1時30分～3時40分
場 所：花巻文化会館中ホール
あの不来方高校音楽部も特別出演します。
詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



ハ) 会長ユニセフ出前講座に出かける !!

平和学習として下記の2校からの要請で 「私の戦争体験」と題し花巻ユニセフ友の会会長の林 正文(妙円寺住職)氏が講師をつとめた。

- 6月 4日 pm13:30～15:00
花巻市北中学校3年生 113名ほか職員
- 6月18日 pm13:30～15:00
花巻市東和中学校 79名

編集後記

大野 香

5月の役員会で21号ニュースは、6月中に発行と決まり、予定が一ヶ月も早まったので、委員の川村エイさんと何回か会って進めてきました。

川村さんはニュース作り・平和コンサートのチラシ作り・発送のための宛名作りと同時に進行でした。たいへんな労力で若さで乗り切っておられたようでしたが、本当にお疲れ様でした。

今回は、専用のカメラを買って頂き、いい写真が載っています。

また、運営会議報告なども入っていますので、どうぞじっくり読んでほしいです。

この一ヶ月あつという間に首相が代わり、アレツと言う間に参議院選に……

それにサッカー侍日本とやらの大奮闘、加えて6月というのに真夏並みの暑さ。

たいへんですなあ(ゲゲゲのことは)鰻でも食べて、体力つけないともちません!

平和コンサートも秒読み、みんなそれぞれがんばりましょう。

(6月20日記)